

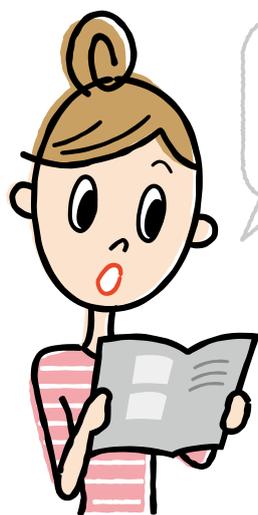
データ入稿の際の 注意点



ここでは、Adobe クリエイティブソフト (Illustrator、Photoshop、InDesign) で、印刷用データが作れる方向けのご案内を記載しております。なお、Microsoft アプリケーション (Word、Excel 等) での入稿について知りたい、という方はP13～をご覧ください。

印刷用データは、モニターや出力紙で確認した通りに印刷されるとは限りません。クリエイティブソフトは自由度が高い分、設定を誤れば予想しない印刷物が出来上がってしまうことが多々あります。

ここに書いた内容は細かい設定や確認の内容が多いですが、総合印刷新報社の長年のデータ検証により印刷に不向きな設定や、エラーの起こりやすいチェック項目などをまとめてあります。不明点は、個別にご質問・ご相談に応じておりますので、必ずご確認をお願いいたします。



かっこいいチラシのデザインができる友達がいるの。
出力紙をみて大丈夫って言っていたから、
これなら印刷も問題ないんじゃないかな？

もちろん、これからお話しする注意点が
クリアできていれば問題なく印刷できるよ。
ただし、印刷はたくさんの量を刷る場合が
多いから、十分気をつけて問題のない
データを入稿してもらうのが一番だよね!



データに問題があった場合、ご希望の納期どおりにお届けすることが難しいこともあります。
ぜひ問題のないデータの入稿をお願いいたします。
もちろんサポートします!!

データ入稿について

●当社対応アプリケーション

	Windows	Macintosh OS-X
Adobe Illustrator	8.0J, 9.0, 10, CS, CS2 CS3, CS4, CS5, CS6, CC	10, CS, CS2 ~ CS5, CC
Adobe InDesign	2, CS, CS2 CS3, CS4, CS5, CS6, CC	CS, CS2 ~ CS5, CC
Adobe Photoshop	○	○
Microsoft Office	2000, 2003 2007, 2010	2004

※上記以外のアプリケーションについてはお問い合わせください。

Adobe アプリケーションデータ入稿時の主な注意点

以下の点に注意し、巻末にある「データ入稿チェックシート」にご記入のうえ、ご入稿ください。

- ①各OSのバージョンは必ず記入してください。
- ②各アプリケーションで下位保存はしないでください。
- ③Illustrator、PhotoshopはCMYKモードでデータ作成してください。(→P16、19参照)
- ④配置された画像などのファイルは必ず添付してください。
- ⑤JIS90版・JIS2004版 (P2参照) どちらの文字セットをお使いか確認し、チェックをしてください。(→P12参照)
- ⑥配置された画像について、補正の必要があるかお知らせください。
- ⑦当社フォントはMorisawaPassportの最新バージョンに対応しておりますが、Illustrator、InDesign、Photoshopデータをご入稿の際は、テキストをアウトライン化してください。
- ⑧PDFデータのご入稿は、PDF-X1a または PDF-X4を推奨しています。PDF-X1a・PDF-X4は、データの性質上、当社での編集はできませんのでご了承ください。なお、それ以外のPDFデータは出力結果を保証できませんのでご了承ください。(→P24参照)
- ⑨すべてのRGBデータは、CMYKデータに置き換えられます。その際、色味が変わりますのでご注意ください。

※ご不明点がございましたら、担当営業までお問い合わせください。

Microsoftアプリケーションの入稿に関しては、P13をご確認ください。

■ Windows Vista・Mac OS-X (v10.5 Leopard以降) をお使いのお客様へ

Windows Vista (以下Vista)・Mac OS-X v10.5以降 (以下Leopard) は従来のデジタル機器 (旧WindowsやMacintosh、携帯電話等) で扱っていた文字に対して、字数の追加と字形の変更がなされました。Vista・Leopardで打たれたテキストデータを他のデジタル機器で扱った場合、文字の形が変わる、文字が抜け落ちてしまうといった不具合が生じる場合があります。**Vista・Leopardで作成したデータを入稿される場合は、必ずチェックシートにご記入頂くか、当社営業にその旨をお伝えください。**

※当社では基本的に、旧字形を使用しております。入稿時に指定がない場合、Vistaで打たれたデータでも旧字形を使用した組版となります。

Vista・Leopardで入力されたテキストデータ

葛飾で味噌を買ったと嘘をついた

XP・MacOS-X v 10.4 以前等、他のデジタル機器で見た同テキストデータ

葛飾で味噌を買ったとをついた

違う部分

葛飾で味噌を買ったと□をついた

字形が変わる

新しく追加された文字のため抜け落ちた

従来の文字は

嘘

Vistaで打たれたこの字は

嘘

OSとフォントについての主な注意点

- ① オープンタイプフォントでの対応となりますので、完全互換を希望される場合、和文書体見本より **JIS2004対応** の印があるものからご希望の書体をお選びください。
- ② Vista・Leopardで作成されたものを入稿前にWindows XP等、旧文字環境を使用したデジタル機器での再編集等を行わない様をお願い致します。
- ③ Windows XPをお使いの方で、マイクロソフト側から配布されているJIS2004版オプションフォントをインストールされた方は、必ずチェックシートへご記入いただくかご相談ください。
- ④ Vistaをお使いの方で、マイクロソフト側から配布されているJIS90版オプションフォントをインストールされた方は、必ずチェックシートへご記入いただくかご相談ください。
- ⑤ 当社ではモリサワパスポートAJ1-5、AJ1-6仕様での対応となります。同オープンタイプ書体をお使いの方はバージョンもご記入ください。
- ⑥ JIS2004コードセット以外の入稿に対してはJIS90版コードセットでの組版になりますが、JIS2004印刷標準字體をご希望の場合、必ずチェックシートへご記入いただくかご相談ください。

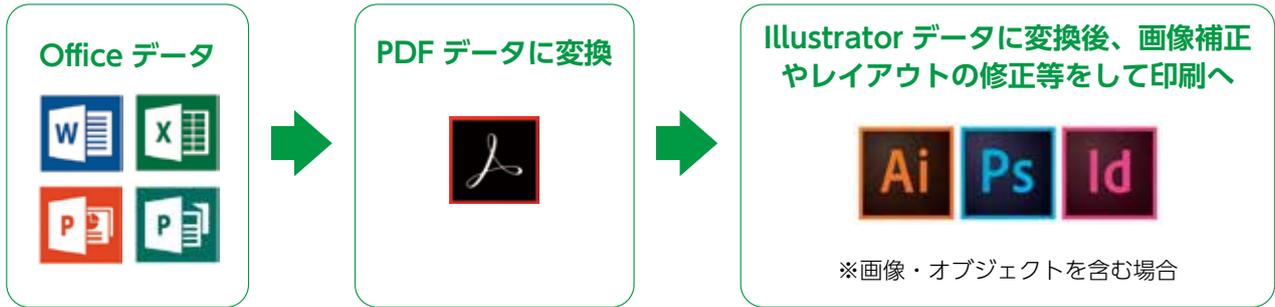
オープンタイプフォントとは？

Adobe社とマイクロソフト社が共同で開発した次世代の標準フォントです。Macintosh、Windows間の垣根がなく、どちらでも同じフォントが使える上に、約物や外字の追加がされたものです。

■ Microsoft Office データをそのまま印刷!!

Office系アプリケーション（Word・Excel・Powerpoint・Publisher）のデータを印刷した際、「色が違う」「レイアウトが崩れている」「文字（またはフォント）が違う」など、出力見本通りにいかないことが多いと思います。

Officeデータは元来、印刷用のデータとして作成されていないため、そのままではオフセットの印刷を行うことができません。当社では印刷に適したデータに変換作業を行っています。その際、体裁が変わってしまうことがあるので、必ず出力見本の添付をお願いします。



Microsoft Office データ制作時の主な注意点

- ①透明機能、パターン機能、極細罫線はなるべく使用しないようにしてください。
- ②Wordに貼り付けた画像、Excel表は元のデータも同じフォルダ等に保存してください。
- ③Powerpoint、Excelは用紙サイズの定義があいまいなため編集時に倍率を変更することがあります。
- ④貼り付けられた画像、カラー書類はRGB値を使用しているため、刷り上がりの色は異なります。
- ⑤使用バージョンによって文字ズレが起こる場合がありますのでバージョンを確認してください。
- ⑥他アプリケーションにバンドルされた書体をお使いのデータは、当社入稿の際似た書体に置き換える場合があります。

Microsoft Office データ入稿時の主な注意点

1. バージョン

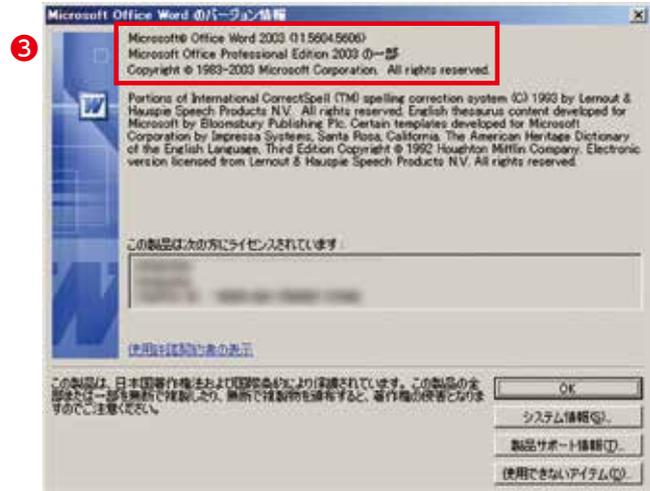
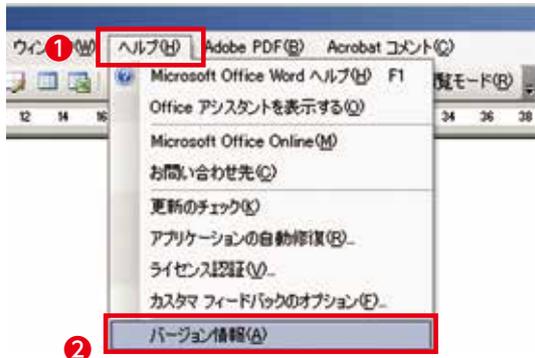
Officeデータは作成したバージョンの違いによって、文字の組み方やレイアウト、オブジェクトの挙動が異なります。なるべく体裁を崩さないためにも入稿時には必ず**作成時のバージョンを確認**してください。

●当社で対応しているバージョンは以下の通りです。(2016年4月現在) ※□は未対応です。

アプリケーション名	バージョン					
	98	2000	XP (2002)	2003	2007	2010
Microsoft Word	98	2000	XP (2002)	2003	2007	2010
Microsoft Excel	98	2000	XP (2002)	2003	2007	2010
Microsoft PowerPoint	98	2000	XP (2002)	2003	2007	2010
Microsoft Publisher	—	—	—	2003	2007	2010

●バージョンの確認方法 (Office2003以前)

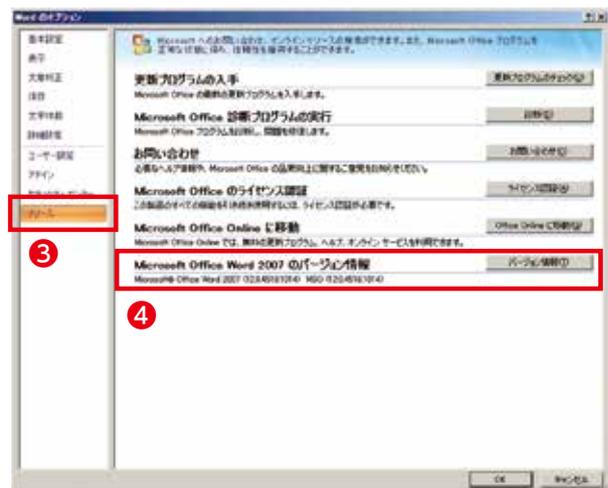
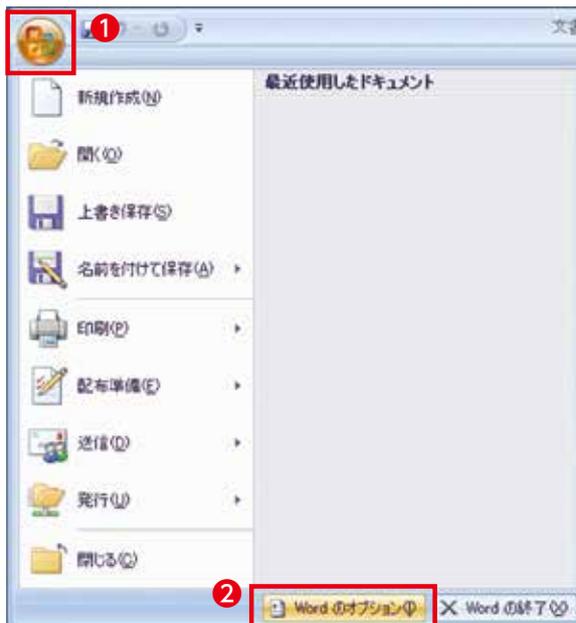
Word 2003などで①[ヘルプ] - ②[バージョン情報]メニューをクリックすると、③ダイアログが表示されます。ここから、Officeのバージョン番号を確認できます。



●バージョンの確認方法 (Office2007)

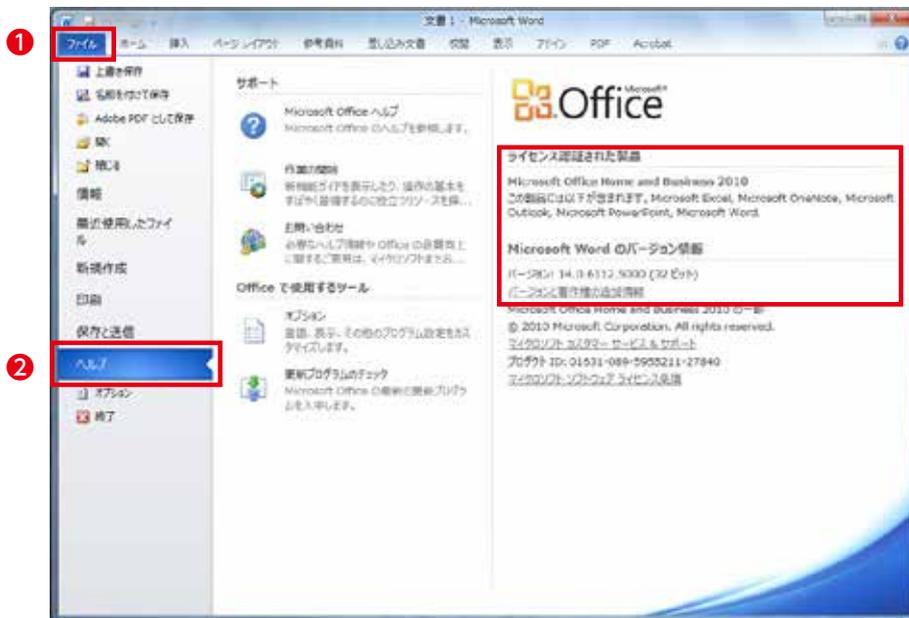
Office 2007のバージョン番号を確認するには左上の① [Microsoft Office] ボタンをクリックし、さらに② [Wordのオプション] ボタンをクリックします。するとオプション設定ダイアログが表示されます。

表示された [Wordのオプション] ダイアログで③ [リソース] メニューを選ぶと、④使用しているOffice 2007のバージョン情報が表示され、同時にバージョン番号を確認することができます。



●バージョンの確認方法 (Office2010)

Office 2010のバージョン番号を確認するには左上の① [ファイル] のタブをクリックし、さらに② [ヘルプ] をクリックします。するとウィンドウの右側に使用しているOffice 2010のバージョン情報が表示され、同時にバージョン番号を確認することができます。



2.フォント

フォントはWindowsやOfficeに付属のフォントであれば特に問題はありません。年賀状ソフトなどで様々なフォントがインストールされている場合など、当社に用意していないフォントが書類で使用されていると、自動的にMSゴシックなどのフォントに置き換えられたり、文字そのものが表示されないことがあります。その際は、**当社にある似たようなフォントに差し替えます。**

3.Windows Vista

当社ではWindows Vistaには対応していません。(2016年4月現在)
Windows Vistaで作成されたデータに関する詳細はP12をご覧ください。

4.画像の扱い方

画像データ (JPEG、TIFF等) をOfficeデータに貼り付けると画像の劣化やサイズの縮小が避けられません。当社で取り出すことは可能ですが、時間がかかる上、画像が分割されてしまうケースもあります。**元画像のデータも必ず添付してください。**

5.色・図形の変換の問題

OfficeデータのカラーモードはRGBのため、当社でCMYKに変換する必要があります。そのため、**お客様のパソコンの画面上の色、カラープリンター出力の色とは大幅に変化があります。**また、図形オブジェクトに半透明・透過性で色を薄くしているデータ、または下が透けるようにしているデータの場合、印刷時に意図した表現にならない場合があります。

データ作成の注意点

4色(プロセスカラー)印刷編

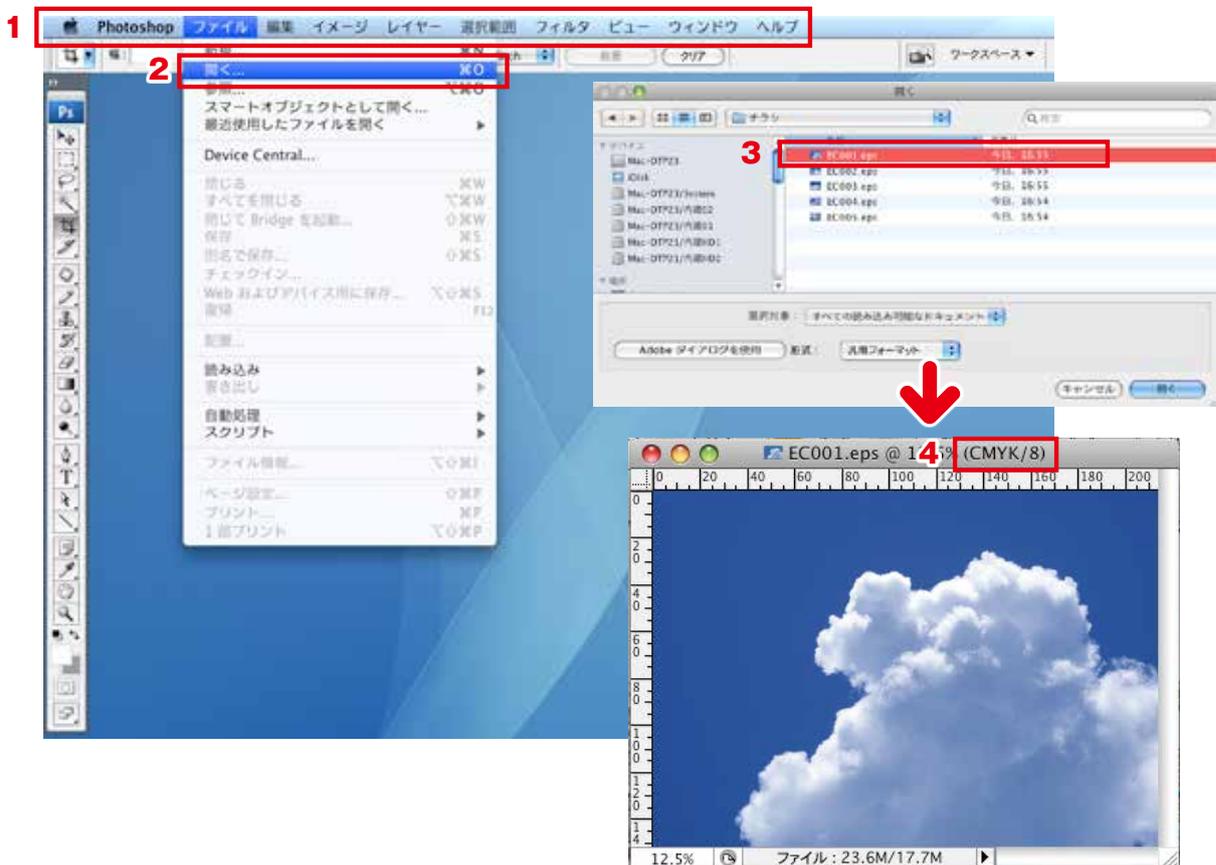
※MAC環境での作業
説明になります

[PhotoShop]

- ①カラーモードはCMYKになっていますか？
- ②解像度はモノクロで300dpi ~ 350dpi、カラーで350dpi ~ 400dpiになっていますか？
- ③epsもしくはpsdで保存されていますか？

【カラーモードの確認】

- 1、PhotoShopを立ち上げます。
- 2、ウィンドウ上部の「メニュー」から「ファイル」を選択し、「開く...」を選択。
- 3、開いたウィンドウから確認する画像を選択します。



- 4、画像ウィンドウ上部にカラーモードが表示されます。ここが「CMYK」でない場合は、「メニュー」から「イメージ」→「モード」を選択し、「CMYKカラー」を選択します。ただし、モードを変更すると色が変色しますのでご了承ください。また、当社で色の補正を行うことも出来ます。(別途費用が発生します)



【解像度の確認】

- 1、【カラーモードの確認】の1～3の手順を行います。
- 2、ウィンドウ上部の「メニュー」から「イメージ」を選択し、「画像解像度...」を選択します。
- 3、解像度の数値が「350～400」、単位が「pixel/inch」になっていることを確認してください。
- 4、解像度が350未満の場合は「画像の再サンプル」のチェックを外し数値を350に変更します。

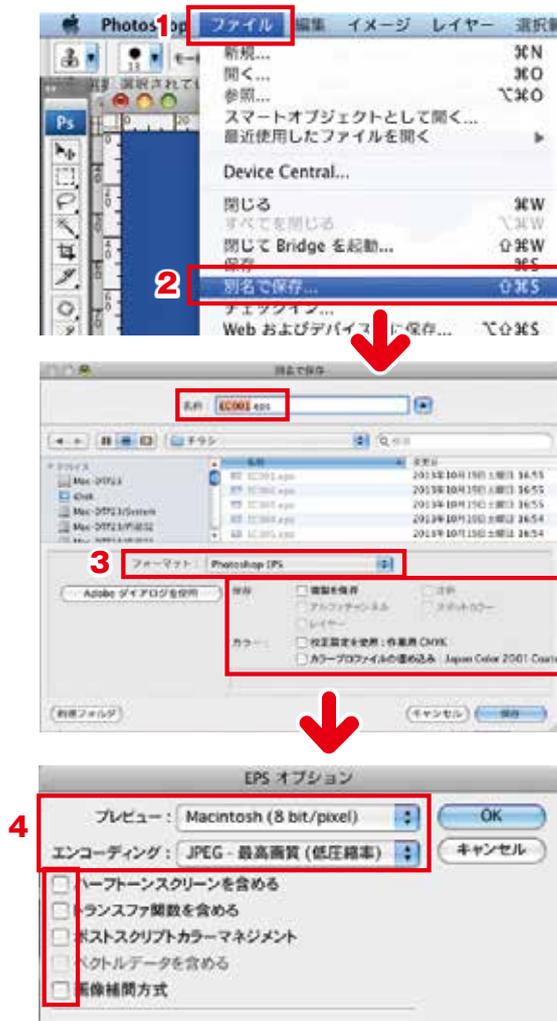
※解像度を変更すると、画像サイズが縮小されます。組版された後にこの作業を行うと、貼り込まれた画像が小さくなりますので、再度正しいサイズでの再リンクをお願いします。



【保存形式の確認】

- 1、【カラーモードの確認】の、1～3の手順を行います。
- 2、ウィンドウ上部の「メニュー」から「ファイル」を選択し、「別名で保存...」を選択します。
- 3、フォーマットを「Photoshop EPS」にします。また、下部の「保存：」[カラー：]のチェックをすべて外します。名前には必ず拡張子「.eps」を付けてください。
- 4、「保存」をクリックすると、EPSオプションウィンドウが表示されます。プレビューを「Macintosh (8bit/pixel)」(作業環境がWindowsの場合は「TIFF (8bit/pixel)」)、エンコーディングを「JPEG-最高画質」を選択します。下部のチェックはすべて外してください。

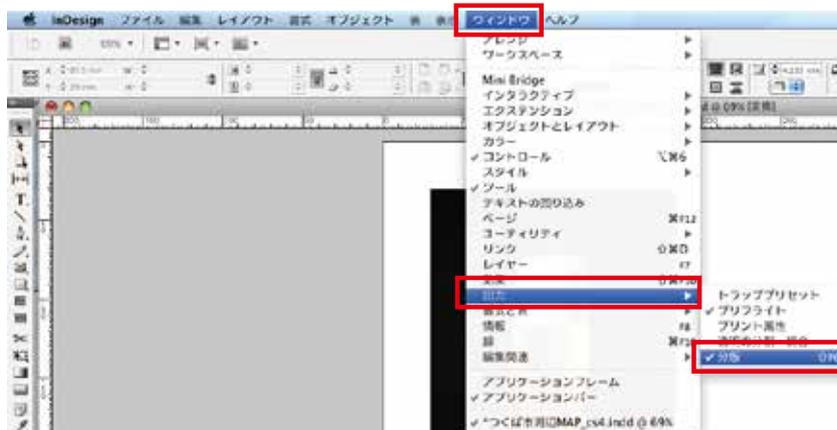
※「Photoshop」形式で保存する際は、保存：レイヤー以外のチェックを外してください。名前は必ず拡張子「.psd」を付けます。「Photoshopオプション」ウィンドウでは、「互換性を優先」のチェックを外さずに保存してください。



●インク量チェックについて（CS4以降）※CS5での作業説明になります

RGB画像をCMYKに変換したり、レジストレーション色を使用したりすると、CMYK掛け合わせのスキームに変換されてしまいます。インクを多量に使用すると、印刷時に裏写りやヨゴレが付着し、トラブルの原因となります。CS4以降から追加された「分版」機能を使用すると、この一定量の掛け合わせを超えたオブジェクトを検索することが出来ます。

1、「メニュー」→「ウィンドウ」→「出力」→「分版」を選択します。



2、分版パネルが開いたら「表示」から「インク限定」を選択し、インク量を280%に設定します。



3、下図のように280%以上の部分が赤く表示されるので、任意のアプリケーションで修正をします。

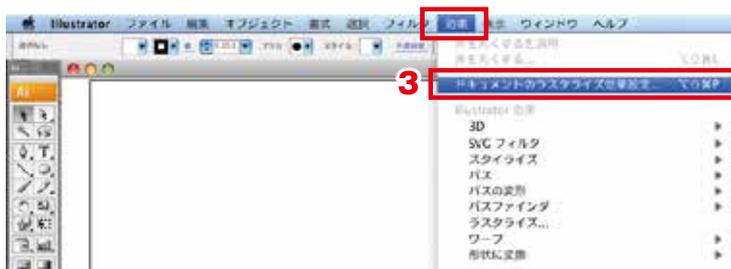
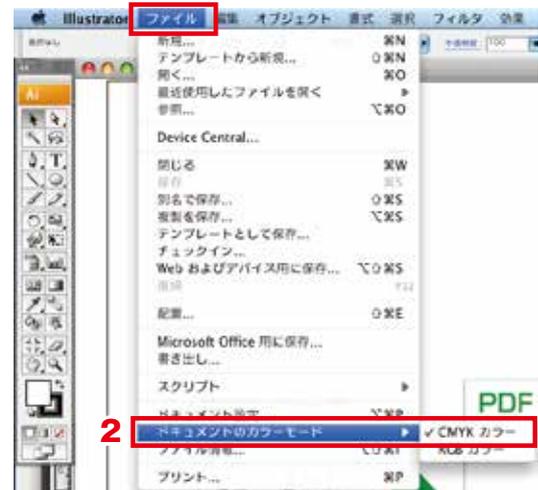


(Illustrator)

- ①ドキュメントのカラーモードはCMYKになっていますか？
- ②ドキュメントのラスタライズ効果設定はモノクロで300dpi ~ 350dpi、カラーで350dpi ~ 400dpi になっていますか？
- ③トリムマークは入っていますか？
- ④仕上がりから外3mmまで塗り足しが入っていますか？
- ⑤仕上がりから3mm以上内側にレイアウトされていますか？→断裁時に切れる恐れがあります。
- ⑥0.1mm未満の線を使用していませんか？
→ラインが消える可能性があります。塗りの指定のみで線幅が指定されていないラインも、画面上では見えていても印刷はされません。
- ⑦書体はアウトライン化されていますか？
→当社にない書体は文字化けし、違う書体に置き換わってしまいます。
(書体見本：制作の手引きP10 ~参照)
- ⑧余分なアンカーポイントが残ってはいませんか？
- ⑨下位バージョンで保存してはいませんか？
→フィルターの違いや文字の字詰めなどで作成データと保存データに違いがでてしまいます。
- ⑩ai形式またはeps形式で保存していますか？

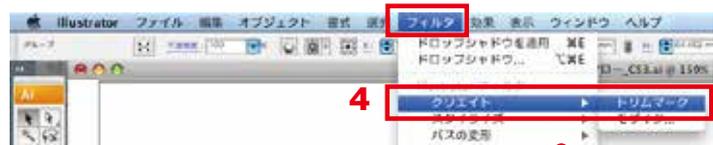
【作成データの確認】※CS3での作業説明になります

- 1、Illustratorを立ち上げ、ウィンドウ上部の「メニュー」から「ファイル」を選択し、「開く…」を選択。開いたウィンドウから確認するデータを選択。
- 2、「メニュー」→「ファイル」→「ドキュメントのカラーモード」で「CMYKカラー」になっていることを確認。「RGBカラー」の場合は、「CMYKカラー」に変更しますが、色が変わりますので確認をしてください。また、K100%が4C掛け合わせの色に分版されてしまいますので、K100%に指定し直してください。
- 3、「メニュー」→「効果」→「ドキュメントのラスタライズ効果設定…」を選択します。開いたウィンドウで解像度「その他：350ppi」にします。

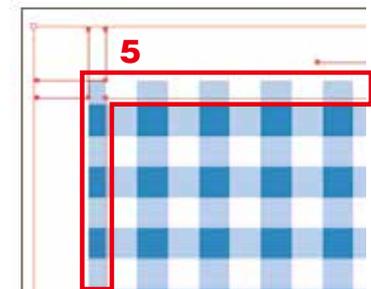


データ作成の注意点

4、トリムマークが入っていない場合は、仕上がり部分に仕上がりサイズの四角オブジェクトを作り、「メニュー」→「クリエイト」→「トリムマーク」を選択します。

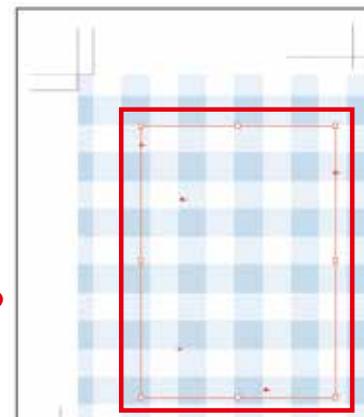
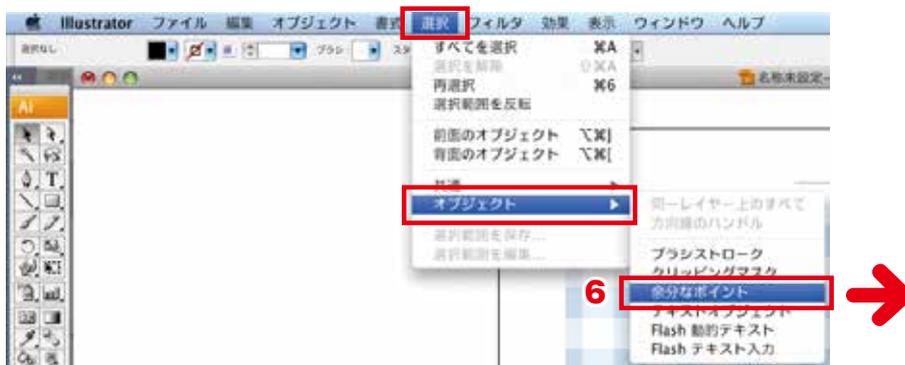


5、仕上がりより3mm外に塗り足しがあるか確認。

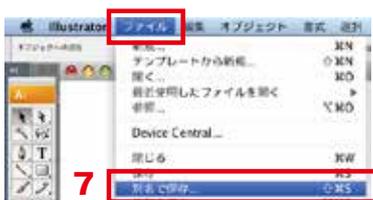


6、「メニュー」→「選択」→「オブジェクト」→「余分なポイント」で孤立したアンカーポイントを選択し、消去します。

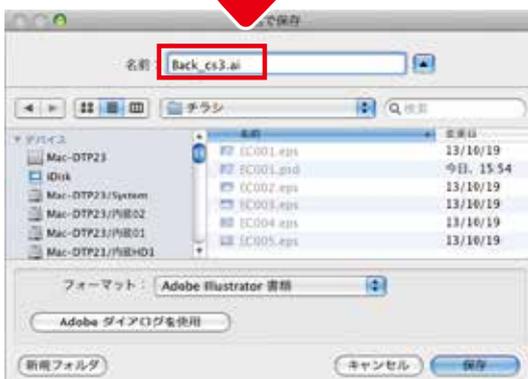
※空欄のテキストや、消去不十分なオブジェクトに孤立点ができます。エラーの原因になりますので、必ず消去をお願いします。



7、「メニュー」→「ファイル」→「別名で保存...」を選択します。名前には必ず拡張子「.ai」を付け、フォーマット「Adobe Illustrator書類」を選択し「保存」をクリックすると、Illustratorオプションウィンドウが開きます。必ず作成バージョンを選択してください。「ICCプロファイルを埋め込む」オプションのチェックを外し、保存します。

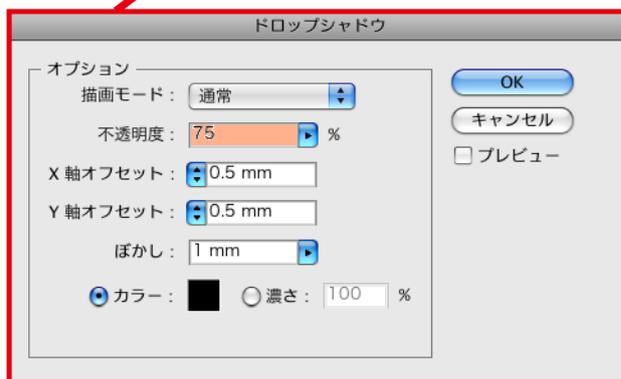
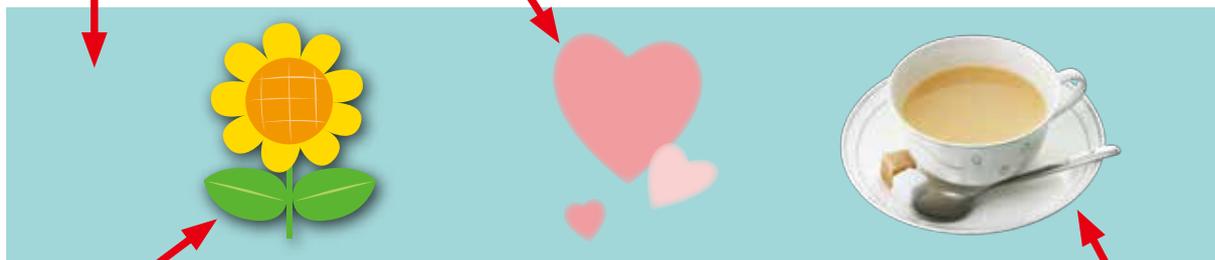
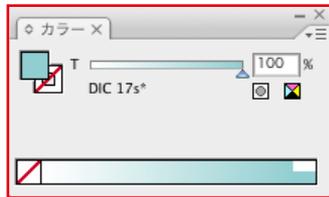


※eps保存する場合は、作成バージョンEPSを選択、プレビューを「Macintosh (8bit/pixel)」(作業環境がWindowsの場合は「TIFF (8bit/pixel)」)、透明効果を使用している場合は、透明プリセットを「高解像度」に指定してください。



● スポットカラー（特色指定）と透明効果について

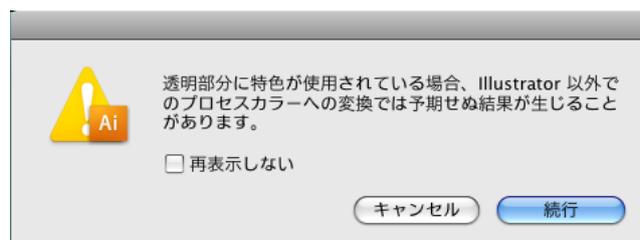
スポットカラーを使用したオブジェクトの上に透明効果（ドロップシャドウ・ぼかし・切り抜き画像など）を使用したオブジェクトを置くと、透明効果が抜けてしまったり、切り抜いた画像が白く抜け落ちてしまいます。



印刷すると…

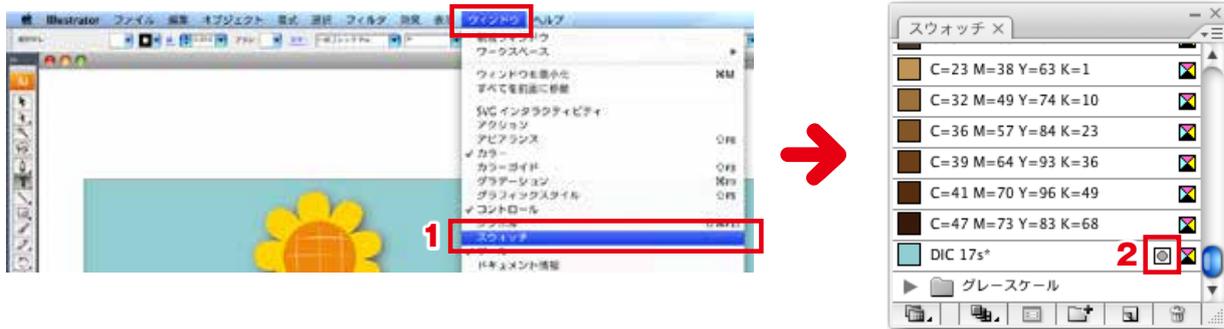


スポットカラーを指定したオブジェクト上に透明効果を使用した状態で保存をすると、右のようなアラートが出ますので、以下の手順でスポットカラーをCMYKに変更します。



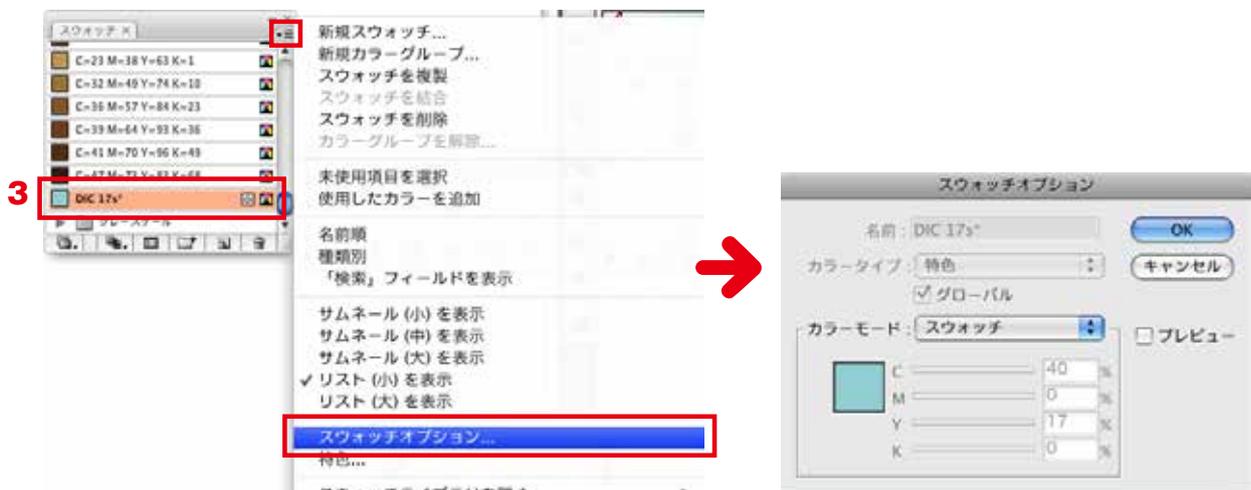
データ作成の注意点

1、「メニュー」→「ウィンドウ」→「スウォッチ」でスウォッチウィンドウを開きます。



2、スウォッチウィンドウでスポットカラーを確認します。上図の赤枠のマークがついた色がスポットカラーになります。

3、スポットカラーを選択し、ウィンドウ右上の▼印からスウォッチオプションウィンドウを開きます。



4、カラータイプを「プロセスカラー」に変更します。スウォッチライブラリのカラーブックから色を選択した場合は、カラーモードを「スウォッチ」から「CMYK」に変更してから、カラータイプを変更します。

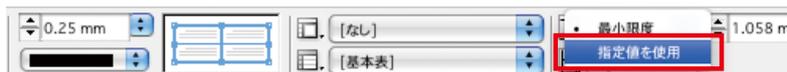


【InDesign】

InDesignの注意点は【Illustrator】と同じです。但し、以下の点を踏まえて作成をお願いします。

●InDesignでのテキストアウトライン化について

表組みを作成する場合は、必ずセルの高さを「指定値を使用」で作成をお願いします。表組みをアウトライン化すると、同位置にアウトライン化した文字がコピーされ、表組み内の文字はそのまま残されます。「最小限度」で作業した場合、残された文字を消去するとセルの高さが縮まり、表組みが崩れてしまいます。



文字に色フチを指定した場合は、アウトライン化すると文字が潰れてしまいます。

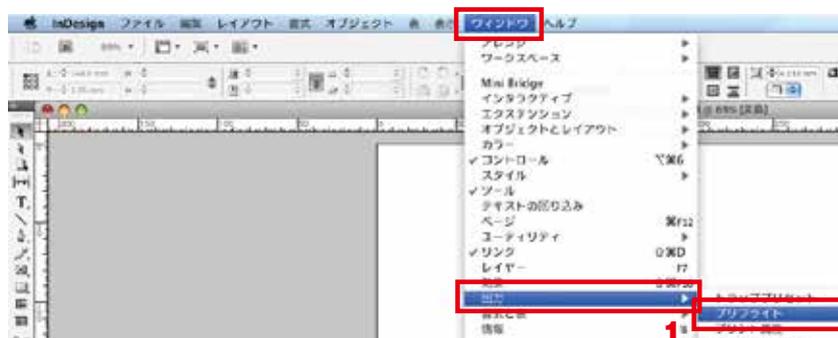


この他、「塗り指定のしてある文字ボックスの文字をアウトライン化するとボックスが消えてしまう」「文字の詰めが変わってしまった」「効果を使用時には注意が必要」など、様々な問題がありますので、InDesign上で文字のアウトライン化をする場合は、なるべくアウトラインが必要なフォントのみ処理していただきますようお願い致します。

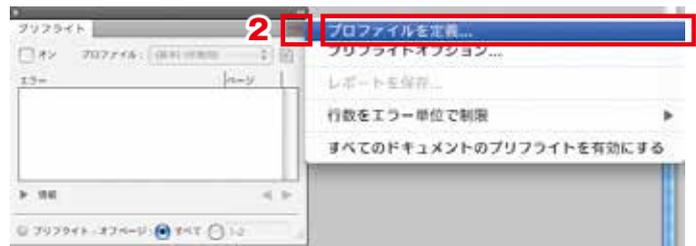
●データチェックについて (CS4以降) ※CS5での作業説明になります

CS4以降から「プリフライト」機能が追加されました。これは、ドキュメントにエラーがないかどうか調べるための機能です。適切な設定を行えば、印刷データとして問題がないかどうか検証することが出来ます。

- 1、「メニュー」→「ウィンドウ」→「出力」→「プリフライト」、またはドキュメント左下から「プリフライトパネル」を選択します。

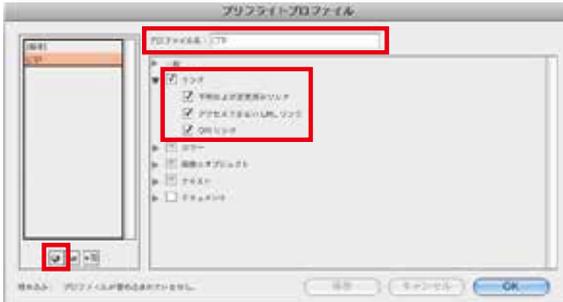


- 2、プリフライトパネルの右肩のボタンから「プロファイルを定義...」を選択します。
- 3、「プリフライトプロファイル」パネル左下の「+」ボタンをクリックして、新規プロファイルを作成し、プロファイル名を任意で入力します。



- 4、図1～図6のようにチェックと数値を入力し、「OK」をクリックします。

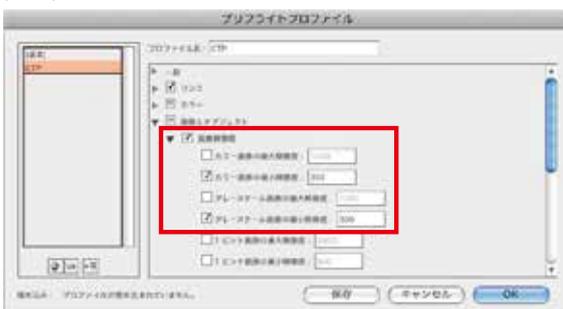
(図1)



(図2)



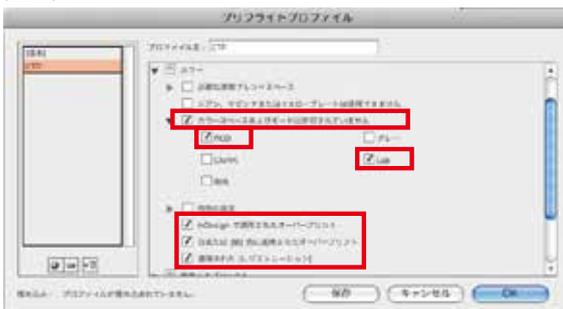
(図3)



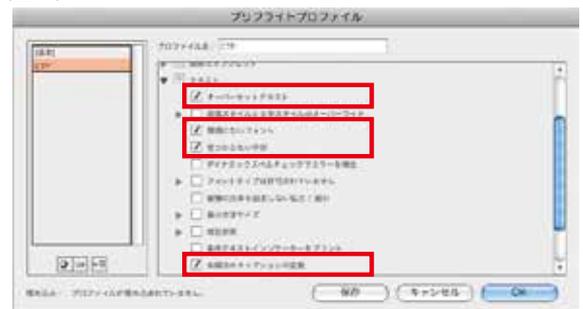
(図4)



(図5)



(図6)



- 5、プリフライトパネルに戻り、4で作成したプロファイルを選択し、左側の「オン」ボタンをチェックします。すると、検証が開始され、エラーの内容が表示されます。右側のページ番号をクリックすると、エラーオブジェクトのページへとんで、問題のあるオブジェクトを自動選択しますので、これを修正をします。

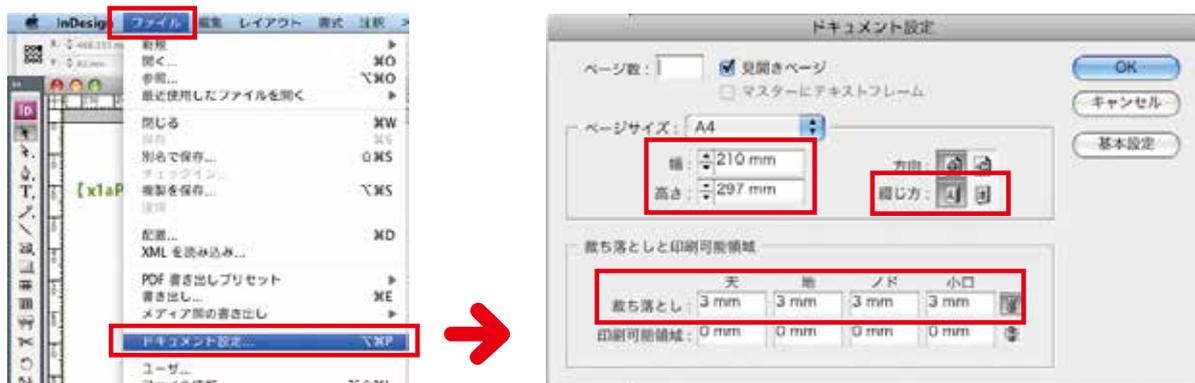
※ページ数や画像のサイズによっては検証に時間がかかります。



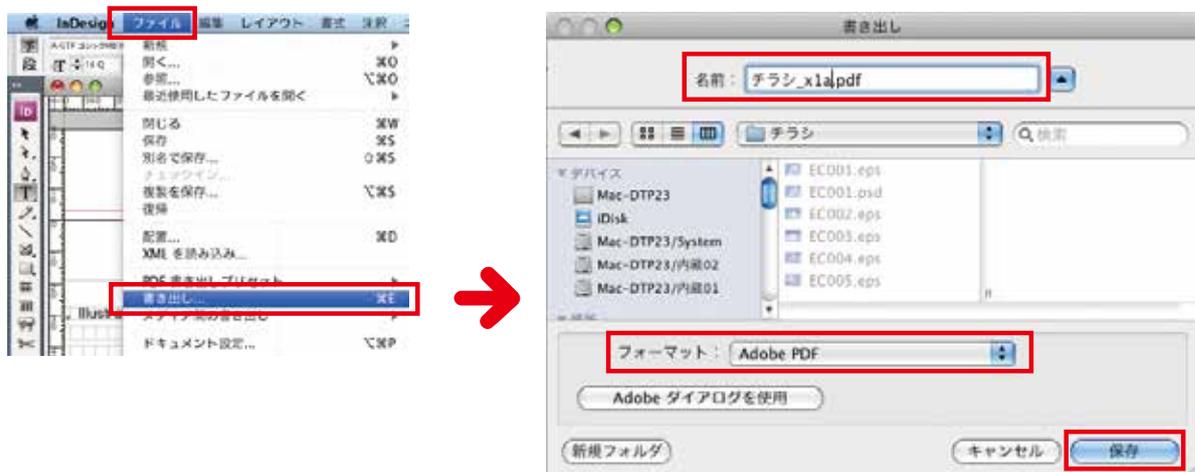
[X1aPDF の作成について]

ここではInDesignから直接PDFを保存する時の設定を説明します。Illustratorからの保存も同様の手順で作成ができます。

- 1、「メニュー」→「ウィンドウ」→「ドキュメント設定」を選択し、仕上がりサイズ、裁ち落とし、綴じ方の設定が正しいかどうか確認をしてください。



- 2、「メニュー」→「ウィンドウ」→「書き出し」を選択し、保存先とデータ名を設定します。書き出しフォーマットは「Adobe PDF」<CS5以降はAdobePDF（プリント）>を選択し、必ず「.pdf」の拡張子を付けてから「保存」をクリックします。



3、以下のウィンドウで各項目を設定します。

○一般設定



- ・PDF書き出しプリセット→「PDF/x-1a:2001 (日本)」

○圧縮設定



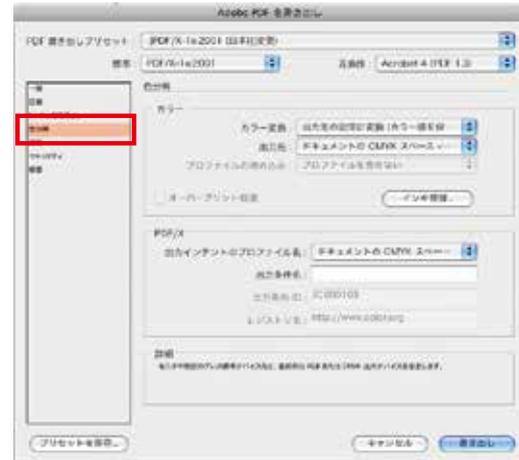
- ・画像：ダウンサンプリングしない
- ・圧縮：ZIP
- ・テキストおよびラインアートの圧縮：チェック
- ・画像データをフレームにクロップ：チェック

○トンボと裁ち落とし設定



- ・内トンボ、外トンボ、センタートンボにチェック
- ・種類：丸付きセンタートンボ
- ・太さ：0.10mm
- ・裁ち落とし：3mm

○圧縮設定



- ・カラー変換：出力先の設定に変換
- ・出力先：ドキュメントのCMYK領域
- ・出力インテントのプロファイル名：ドキュメントのCMYK領域

○詳細設定



- ・プリセット：高解像度

以上の設定が終わったら「書き出し」をクリックし、PDFを保存します。

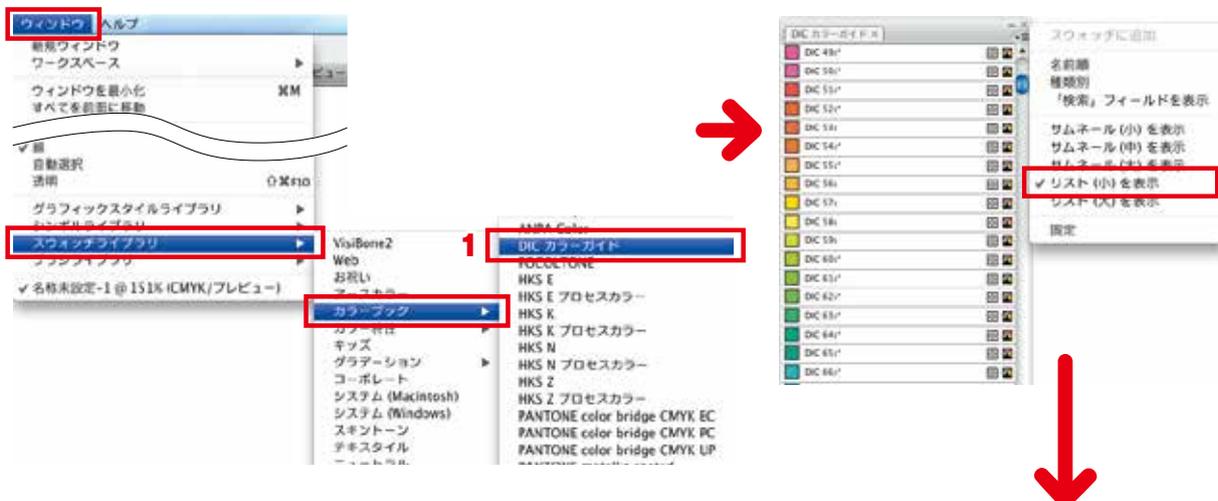
データ作成の注意点

特色印刷編

印刷に使用するインキは、「プロセスカラー」と呼ばれるCMYKの4色を掛け合わせて使用するプロセスインキか、「特色」と呼ばれるすでに調合済みのカラーインキを使用するかのどちらかになります。特色で印刷をする場合は特色部分をスポットカラーにて作成してください。

[Illustrator]

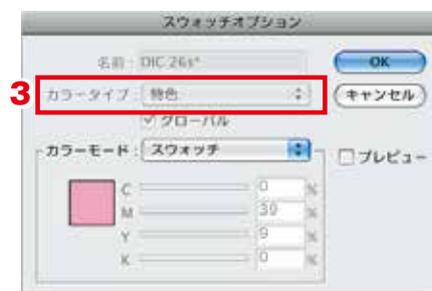
- 1、「ウィンドウ」メニュー→「スウォッチライブラリ」→「DIC カラーガイド」でウィンドウを開きます。リスト（小）表示にすると見やすくなります。



- 2、DIC カラーガイドから使用する特色を選択するとスウォッチウィンドウに色が追加されます。追加された色には右下に▲マークがつきます。



- 3、追加された色をダブルクリックしてスウォッチオプションウィンドウを開き、カラータイプが「特色」になっていることを確認します。



入稿前に最後のチェックをお願いします

【Photoshop】

- カラーモードはCMYKになっていますか？
- 解像度はモノクロで300dpi ~ 350dpi、カラーで350dpi ~ 400dpiになっていますか？
- 黒色部分はインク量が280%以下になっていますか？
- epsもしくはpsdで保存されていますか？

【Illustrator / InDesign】

- ドキュメントのカラーモードはCMYKになっていますか？
- ドキュメントのラスタライズ効果設定は350dpi ~ 400dpiになっていますか？
- トリムマークは入っていますか？
- 仕上がりから外3mmまで塗り足しが入っていますか？
- 仕上がりから3mm以上内側にレイアウトされていますか？
- 0.1mm未満の線を使用していませんか？
- 書体はアウトライン化されていますか？
- 余分なアンカーポイントが残ってはいませんか？
- 下位バージョンで保存してはいませんか？
- ai形式またはeps形式で保存していますか？
- スポットカラーに透明効果を使用していませんか？
- 4色スミを使用していませんか？

【PDF】

- X1a、またはX4のPDFで作成されていますか？
- 作成したPDFを画面上で確認をしましたか？
- PDFによる完全データ入稿の場合は当社での修正はできかねます。ご了承くださいませですか？

【その他】

- データは必要なもののみ入っていますか？
- 出力見本は添付されていますか？
- 入稿チェックシートは添付されていますか？
- データは 4色印刷の場合はCMYKのプロセスカラー、特色はスポットカラーで作成されていますか？

データ入稿チェックシート

お手数ですが、枠内の箇所にご記入をお願い致します。

ご入稿日	年 月 日 ()						
お客様名							
出力ファイル名							
PDF/X	<input type="checkbox"/> PDF/X-1a		<input type="checkbox"/> PDF/X-4		PDFで入稿される場合は、当社での編集はできませんのでご了承ください。 又、PDF/X-1a・X-4以外は出力結果は保証できません。		
サイズ	<input type="checkbox"/> A1	<input type="checkbox"/> A2	<input type="checkbox"/> A3	<input type="checkbox"/> A4	<input type="checkbox"/> A5	<input type="checkbox"/> A6	頁
	<input type="checkbox"/> B1	<input type="checkbox"/> B2	<input type="checkbox"/> B3	<input type="checkbox"/> B4	<input type="checkbox"/> B5	<input type="checkbox"/> B6	
	<input type="checkbox"/> カスタム		mm ×		mm		
色	<input type="checkbox"/> C ×		<input type="checkbox"/> C		<input type="checkbox"/> 特色 ()		
使用 OS	Macintosh			Windows			
	<input type="checkbox"/> ~ OS 10.4		<input type="checkbox"/> OS 10.5 ~		<input type="checkbox"/> XP	<input type="checkbox"/> VISTA	<input type="checkbox"/> 7
アプリケーション	<input type="checkbox"/> Adobe Illustrator (10・CS・CS2・CS3・CS4・CS5・CC) <input type="checkbox"/> Adobe Photoshop <input type="checkbox"/> Adobe InDesign (CS・CS2・CS3・CS4・CS5・CC) <input type="checkbox"/> Microsoft Office (2004)			<input type="checkbox"/> Adobe Illustrator (8・9・10・CS・CS2・CS3) (CS4・CS5・CS6・CC) <input type="checkbox"/> Adobe Photoshop <input type="checkbox"/> Adobe InDesign (2・CS・CS2・CS3・CS4) (CS5・CS6・CC) <input type="checkbox"/> Microsoft Office (2000・2003・2007・2010) <input type="checkbox"/> 一太郎			
※右記以外のアプリケーションにつきましてはお問い合わせください。	※ AICS3 ~の保存形式は .ai 推奨			※ AICS3 ~の保存形式は .ai 推奨			
フォント	<input type="checkbox"/> モリサワ (OCF・NewCID・OpenType) <input type="checkbox"/> フォントワークス (OCF・CID)			<input type="checkbox"/> ダイナフォント (CID・OpenType) <input type="checkbox"/> Biblos 外字 ※記載のないフォントには対応しておりません。			
	<input type="checkbox"/> アウトライン済み			<input type="checkbox"/> 欧文			
透明効果の使用	<input type="checkbox"/> 有		<input type="checkbox"/> 無				
画像の色調補正	<input type="checkbox"/> 要補正		<input type="checkbox"/> 補正不要				
文字コードセット	<input type="checkbox"/> JIS90 版		<input type="checkbox"/> JIS2004 版				
メール入稿	<input type="checkbox"/> info@shinposha.co.jp		<input type="checkbox"/> dtp@shinposha.co.jp		<input type="checkbox"/> ()@shinposha.co.jp <input type="checkbox"/> PrimeDrive (フォルダ名:) <input type="checkbox"/> 外部ストレージ利用		
備考							

※本誌P11～P36に、データ入稿上の注意点が記載されておりますのでご参照ください。

※ご不明な点は、当社担当営業までお問い合わせください。